

仙台城跡における本質的価値の検討

仙台城跡の本質的価値（前回案）	仙台城跡の本質的価値（全体的価値）
<ol style="list-style-type: none"> 1 良好に残る城郭全体の基本的形状と各遺構 2 本丸北壁石垣の変遷と城内の石垣にみる変化 3 政宗らしさをうかがわせる特色ある遺構と遺物 4 自然環境との高い一体性 5 時代を反映した城郭構造と歴史的眺望 	<p>歴史的価値 近世城郭としての歴史</p> <p>文化的価値 伊達文化の継承</p> <p>象徴的価値 仙台のシンボル</p>

【前回案】	【今回案】	
1 基本的形状・各遺構	1 基本的形状と各遺構 自然地形利用、自然と一体的な歴史的景観	歴史的価値
2 石垣変遷	2 石垣変遷 内容同じ	
3 政宗らしさ	3 城郭構造 眺望の観点弱めに	文化的価値
4 自然との一体性	4 政宗らしさ 伊達文化の継承、日本遺産との連携	
5 城郭構造・眺望	5 仙台の象徴 近世： 藩政の中心 → 権威の象徴 近代 } 公園、軍隊、大学 ~ } 史跡、天然記念物 } 学び・活力の場 現在 } 杜の都の原点 → 仙台の象徴	象徴的価値

再構成の要点

- 前回案4のうち、近世的価値（自然地形利用）と現代的価値（都市近郊の自然林）を、今回案1と5に分離。
- 今回案3では、二の丸の記述を充実し次代を反映した城郭構造の説明を主とする。
- 今回案4は、政宗を始まりとする伊達文化の継承（現代までの視点）や日本遺産との連携も視野に入れたものとする。
- 今回案5は、近世から現在までの仙台の象徴としての価値を記述。土地利用の変遷とその都度の市民の思いを含めたものとする。
- 眺望・景観の観点については、各価値の内容に応じて記述する。